

日本繊維技術士センター (JTCC)

Japan Textile Professional Engineer Center

一般社団法人 日本繊維技術士センターとは

日本繊維技術士センター (JTCC) は国家資格である技術士 (繊維部門) 300 余名が、その専門能力を相互に継続研鑽し繊維産業の発展に寄与することを目的に活動している団体です。1962 年の創設以来、繊維および繊維に関連する分野の技術士、およびこの目的に賛同する賛助企業や協力者、支援者が共同し、資質向上、繊維系人材の教育、育成、業務コンサルティングなどの活動を行っています。

JTCC ホームページ: <http://jtcc.or.jp>



技術士 (繊維) が貴社の技術的課題解決や
技術者育成を支援します。

一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)

「技術士(Professional Engineer)」

「技術士」は、1957(昭和 32)年に制定された技術士法に定められた試験に合格し、文部科学省に登録した者に対する国家資格です。専門を明確にするため技術士(繊維)、技術士(建設)、技術士(電気・電子)などと表記します。所管の文部科学省の外郭団体に、技術士の全 21 分野を組織化する(公益社団法人)日本技術士会があり、繊維部門はこの中の繊維部会を担当していますが、日本繊維技術士センター(JTCC)は繊維分野に係る技術士を中心とした(部門は問わない)独自の団体です。

参照:(公益社団法人)日本技術士会 HP:<http://www.engineer.or.jp>

JTCC の活動内容

(1) 教育活動

日本企業の若手技術者に対する指導者が少なくなっている現状に対して、JTCC のベテラン技術者が繊維関連技術の基礎から応用までの教育を受託支援しています。

- 技術士取得に向けての受験講座を開き、合格まで懇切丁寧に支援しています。
- TES(繊維製品品質管理士)の受験指導も行っています。
- 繊維業界の社内教育、自己啓発などのニーズにこたえ支援しています。
- 「繊維ベーシック講座」などを開催し、繊維技術の基礎を系統的に教育しています。
- 繊維系の大学院、大学、産地研修機関等に対し実務知識豊富な講師を派遣しています。
- 講師は東京、大阪、名古屋、福岡、岡山、福井など全国の大学、企業、研修会場に出講しています。



(2) 技術支援活動

国内外の企業および政府を始め行政機関に対して、現場経験豊富な専門家が支援業務を受託しています。数日のスポット診断から長期の調査・現場指導まで対象とします。下記例示事項だけでなく技術支援事務局にご相談いただければ対応いたします。(詳細は JTCC ホームページをご参照ください)

「支援事例」



- 製糸、製布、染色加工、縫製、環境等の技術支援
- 生産管理、品質管理、新商品開発、技術開発、工場設計などの支援
- ISO9001 や 14001 の認証取得支援
- コスト低減(工程合理化、省エネ、在庫削減)、安全管理などの課題解決指導

(3) 新技術情報の研鑽

アパレルから産業用途まで技術の進歩は日進月歩です。会員は最新の繊維技術の知識や動向が幅広く収集でき、技術士としての自己研鑽ができます。

- 技術士には継続研鑽(CPD)が求められ、会員に対しその機会を提供しています。
- 繊維分野の中で異なる専門科目の相互研鑽のための各種研修会を設けています。
- 企業に在籍中の現役技術士を主体とした交流と研鑽の場も設けています。

(4) 女性技術士の活躍

女性の能力活用について国をあげて積極的な動きがあり、とりわけ繊維の仕事では女性の感性、発言は大切に、女性技術士の活躍が期待されます。JTCC の女性技術士は幅広い人脈を形成してその能力を最大限に発揮して活躍しています。



(5) フェスタ・会員交流同好会活動

技術士は文化的な価値も尊重し、人としての喜びを大切にしています。JTCC では毎年秋にフェスタを開催し、伝統工芸などの文化的な講演を聴いたり、会員の写真、絵画、書、彫刻などを展示して、会員の感性溢れる才能を紹介します。また、ゴルフ、文化財鑑賞などの同好会を定期的に行っています。

(6) 会員の構成

正会員、準会員の繊維技術士だけでなく、賛助法人会員、協力会員、会友、客員など繊維分野や周辺分野の企業および人材が JTCC の活動を支えています。

技術士(繊維)をめざす Q & A

Q.1 技術士になるとどんなメリットがありますか。

- A
- 高度な知識・経験を持った人たちへの人脈が広がり自分の技術のポテンシャルを上げることができます。
 - 専門性の高い国家資格なので社会的なステータスが高まります。
 - 定年後も技術士、コンサルタントとして収入が伴う社会的な活動ができます。
 - 公的な産業振興事業や助成事業の講演、審査などの委託を受けることがあります。
 - 海外においても高い技術知識をもつ者として位置づけられます。

Q.2 どのような人が技術士に向いていますか。

- A
- 繊維の一般知識は広く知っておりその中でも一つの専門分野、例えば製糸、紡績、編織、染色仕上、アパレル、縫製、品質評価、繊維機械などについて知識・経験を持っている人です。
 - 課題に取り組む姿勢が誠実であり、倫理観を持っている人です。
 - 業務上得た知識、ノウハウなどの守秘義務を確実に守れる人です。
 - 技術だけでなく業界、社会の動向、関連法規など広い視点を持てる人です。
 - TES 資格を取得し、さらに繊維分野で自分の専門の識見を活かしたい人です。

Q.3 資格取得は難しいのではありませんか。

- A
- もちろん簡単ではありませんが、資格取得への挑戦は自己の成長につながります。
 - 一次試験、二次試験があり、繊維部門の過去5年間の平均合格率は、受験者対比で一次が約 68%、二次が約 29%です。

・まず一次試験合格をめざすことです。JTCC の受験講座を利用すると広範囲な分野でも重要なポイントがわかりやすく、無駄の少ない準備ができます。学歴や文・理系とは関係なく、高校(普通科)卒からの合格例もあります。一年での合格が難しくても数年かけて取り組むこともひとつの方策です。

Q.4 技術士は何人くらいいますか。海外に通用しますか。

A ・全部門の登録者は約 86,000 人 繊維部門は約 750 人です。

・APEC Engineer として、日本、オーストラリア、カナダ、韓国、香港、マレーシア、ニュージーランド、インドネシア、フィリピン、米国、タイ、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、ロシア間で相互資格認証が可能になります。(申請手続きによる認証が必要)

JTCC の基本理念

JTCC の諸活動は以下のような姿勢を守っていますので安心してご依頼いただけます。

1. 法令を遵守します。
2. 業務上知り得た情報を正当な理由なく他に漏したり、転用しません。
3. 常に専門技術の向上を目指し継続的な自己研鑽に努め、他分野の専門家とも交流を密にし、幅広いプロフェッショナルを目指します。

日本繊維技術士センター(JTCC)や、技術士資格取得に関心をもたれた方は、ぜひ下記までお問い合わせください。

<日本繊維技術士センター(JTCC)の所在地>

本部・近畿支部 事務所

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-9
輸出繊維会館 6F
TEL:06-6484-6506 FAX:06-6484-6575
e-mail:jtcc@nifty.com

関東支部 事務所

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
12-9 滋賀ビル 506
TEL:03-5643-5112 FAX:03-5614-0103
e-mail:jtcc-kt@nifty.com

東海支部 事務所

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18
一光大須ビル 7F
(財)中部科学技術センター内
TEL:052-231-3043 FAX:052-204-1469

